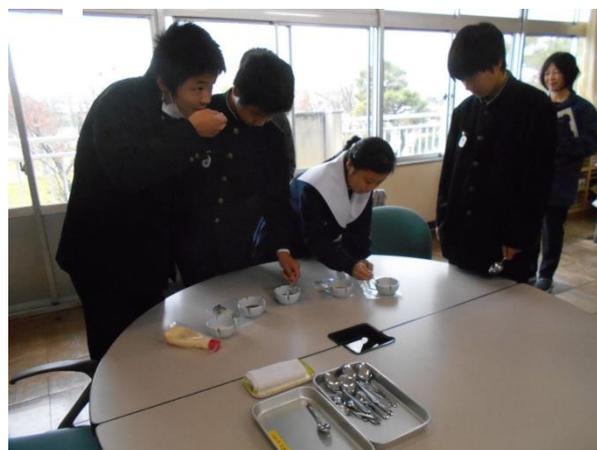


授業者	加藤景子	日時・指導学級	12月7日(金) 1時間目 7・8組
教科	家庭科	題材	クリスマスサラダを作ろう
【授業の目標】			
・みんなでおいしく食べられるクリスマスサラダを考えることができる。			
【授業の工夫】			
・みんなでおいしく食べられるクリスマスサラダを考えるために、好きな野菜と苦手な野菜を聞き合う場面を設定する。			
【授業の様子・生徒の変容】			
・みんなが食べたくないようなサラダを考えるために設けたインタビュー活動では、自分の作りたいサラダに入っている食材を他の子も食べられるか積極的に質問する生徒の姿が見られた。			
・みんなが食べられる食材を聞き合うインタビュー活動を行ったことで、他者の好みに目を向けることができ、食べる人のことを考えて調理する大切さについて考えるきっかけになった。			
【教師の振り返り】			
・生徒達にとって、みんなの考えをまとめて1つの料理を作り上げる活動は初めての経験であり、話し合いの中で戸惑いも見られた。今回の活動を一度きりで終わらせるのではなく、継続的に言い、自分たちで1から作り上げる楽しさをより味わうことができるようにしていきたい。			
・それぞれが考えたクリスマスサラダのよいところを最初に一通り出してから、それについてみんなで話し合って食材を増やしたり減らしたりしていく流れにすると、もっと意見が出たのではないかな。			
・クリスマスサラダを作るという課題を設定したことで、いつもはあまり気にしない盛り付け方や彩りにも注目することができた。			



みんなの好きや苦手を聞き合う

↓

他の子が好きな食材、食べられない食材をどうしたらよいか考え、みんなが喜んで食べられる料理を考えようとする。

↓

人を思いやる気持ち＝利他共生